

スライムを作ろう

1 ねらい

スライムは「アメーバ」という意味で、どのような形にしてもドロッと流れて形が変わってしまう、プヨプヨした不思議な感触の物体です。この洗濯のりから作ったスライムは、他の実験にも使えます。

2 準備するもの

- ・洗濯のり
- ・ビーカー
- ・ホウ砂（薬局で500g 1,800円程度で手に入る）
- ・ガラス棒
- ・インク（絵の具、食紅など）



3 作り方

(1) ビーカーに洗濯のり約50mLと水100mLを加えてかき混ぜる。



(2) 色をつけるときは、インク等を加える。



(3) 別のビーカーにホウ砂を溶けなくなるまで溶かし(1)に混ぜる。



(4) どろっとしたらできあがり。



5 留意点と解説

(1) 留意点

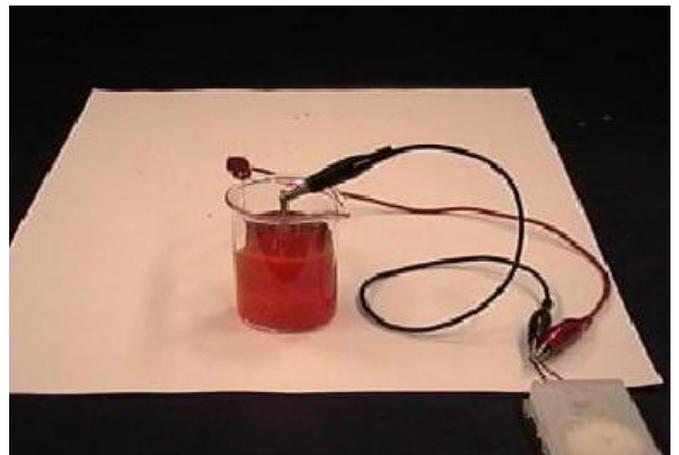
- ・ホウ砂は体の中に入ると有害なので、絶対に口に入れないことと、触った後は手をよく洗うことが大切です。
- ・スライムは乾燥しないように、ビニール袋やフタ付きのビンの中に入れておくと、長持ちします。

(2) 解説

洗濯のりはプラスチックの仲間の「ポリビニルアルコール」という白い粉から作ることができます。高温(沸騰していない)の水1,000mlに、粉末のポリビニルアルコール40gを少しずつかしていきます。この溶液を洗濯のりをうすめたもののかわりに使っても、スライムを作ることができます。

6 発展

- ・銅板とマグネシウム板をスライムの中に差し込み、電子オルゴールとつなぐと音が鳴ります。液がこぼれないので持ち運びもできます。[【動画を見る】](#)



- ・スライムに蓄光塗料（100gで3,500円）を混ぜて暗くすると、ぼんやり光る不思議なスライムができます。